

## 平成27年(2015年)3月期 第4四半期決算発表 地域別市場環境と見通しについて



2015年4月27日

 日立建機株式会社

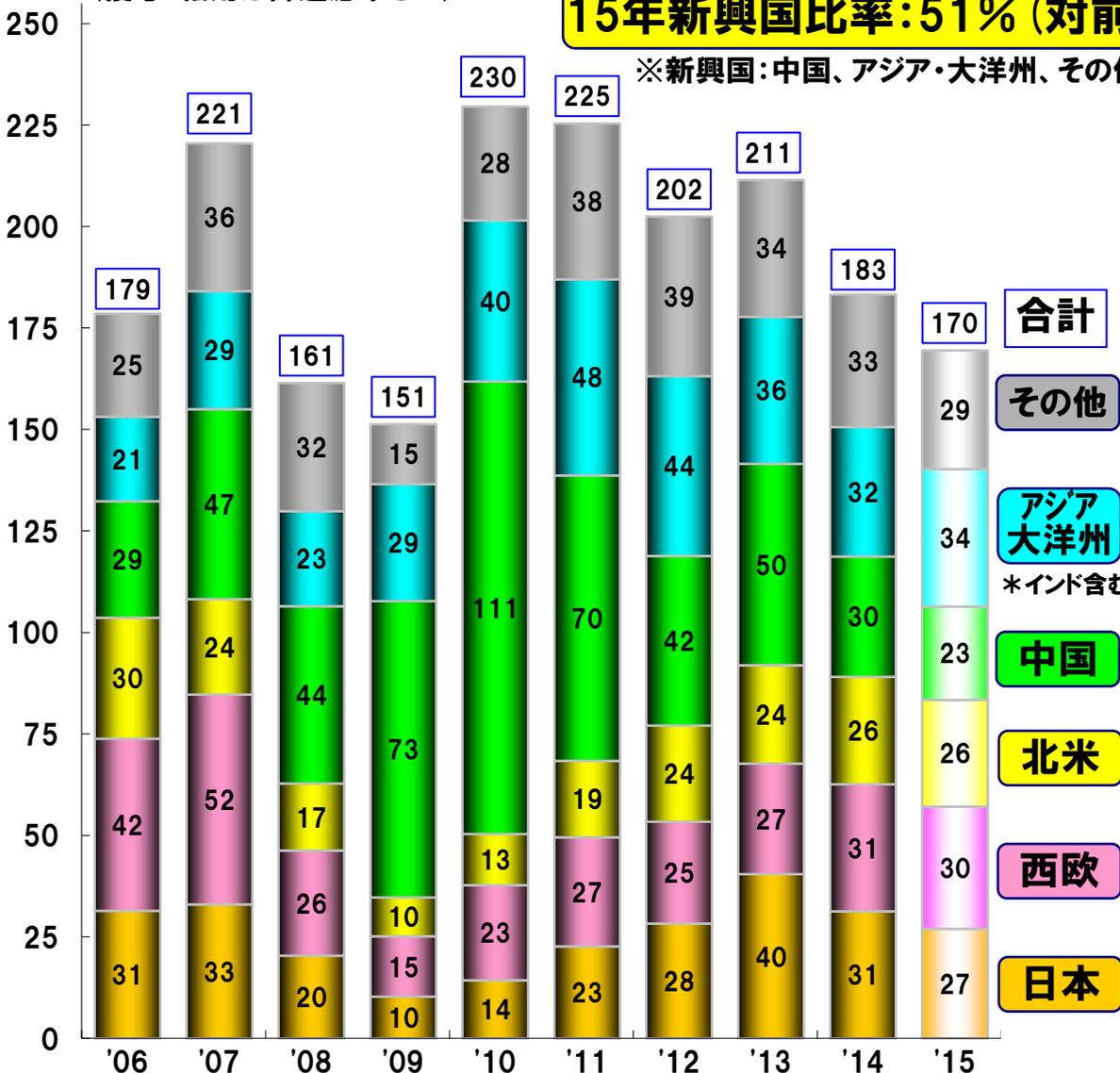
執行役専務

平岡 明彦

(千台)  
 \* 当社推定 \* 中国国産メーカー含まず  
 (複写・転用は御遠慮下さい)

**15年新興国比率:51% (対前年±0%)**

※新興国:中国、アジア・大洋州、その他

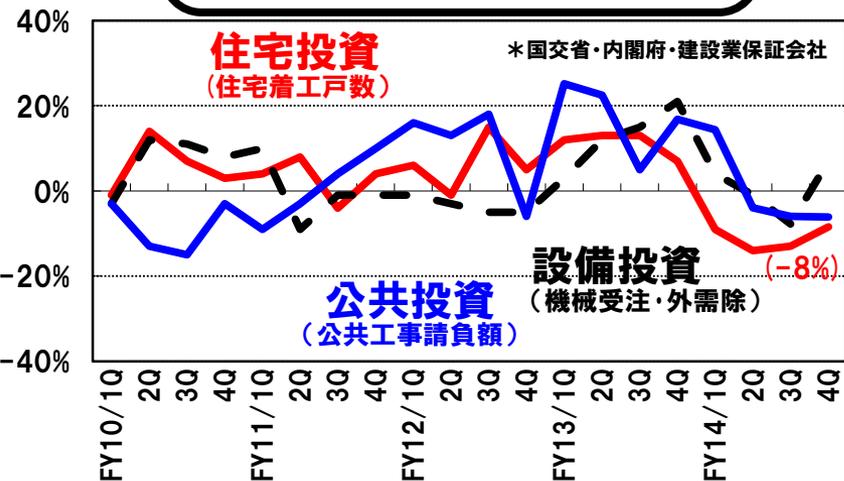


**地域別需要対前年増減**

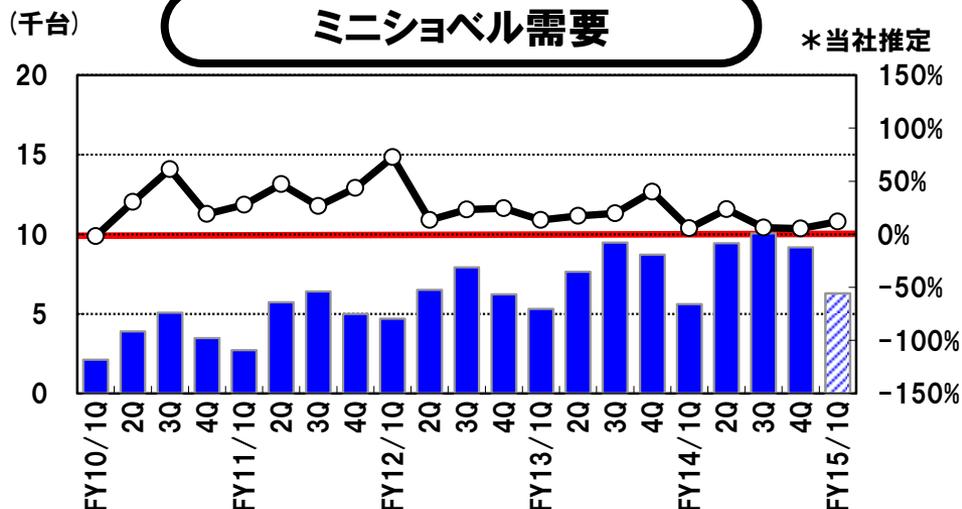
	'13	'14	'15
<b>合計</b>	+4%	-13%	-7%
ロシア・CIS	-17%	-22%	-22%
東欧	-17%	-22%	-22%
アフリカ	-5%	+7%	0%
中東	-19%	+9%	-7%
中南米	-17%	-7%	-14%
<b>その他</b>	-14%	-3%	-12%
インド	-26%	-1%	+13%
インドネシア	-20%	-25%	-1%
他	-13%	-11%	+5%
<b>アジア・大洋州</b>	-18%	-11%	+6%
<b>中国</b>	+19%	-40%	-22%
<b>北米</b>	+2%	+8%	0%
<b>西欧</b>	+9%	+15%	-3%
<b>日本</b>	+43%	-23%	-13%

- ◇ 14年度 設備投資は増加に転じるも、公共工事、住宅着工は減少。  
油圧ショベル需要は排ガス規制前の駆け込みの反動により大幅減。(対前年23%減)
- ◇ 15年度 油圧ショベル需要は引き続き排ガス規制の反動減あるも、投資促進税制により下支え。  
ミニショベル・ホイールローダ需要は排ガス規制前の駆け込みにより微増の見込み。

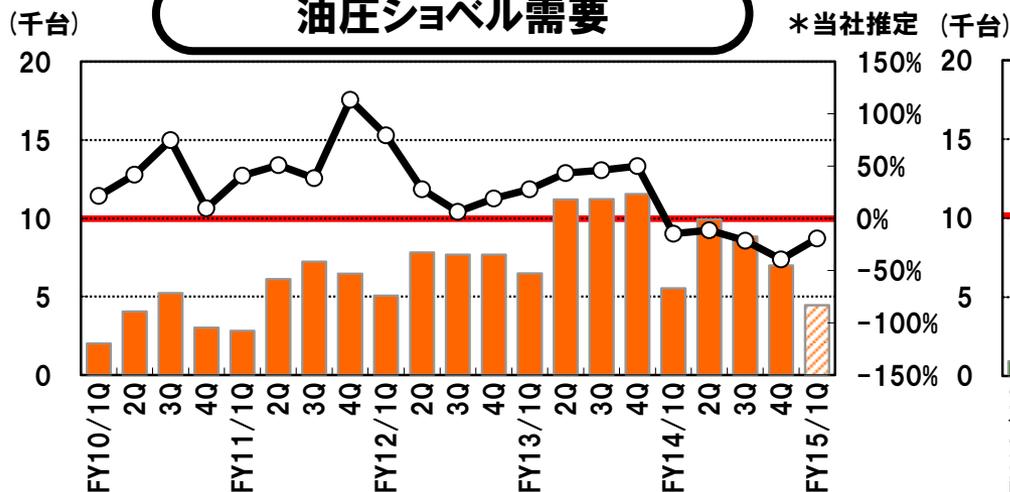
住宅・設備・公共投資(対前年同期比)



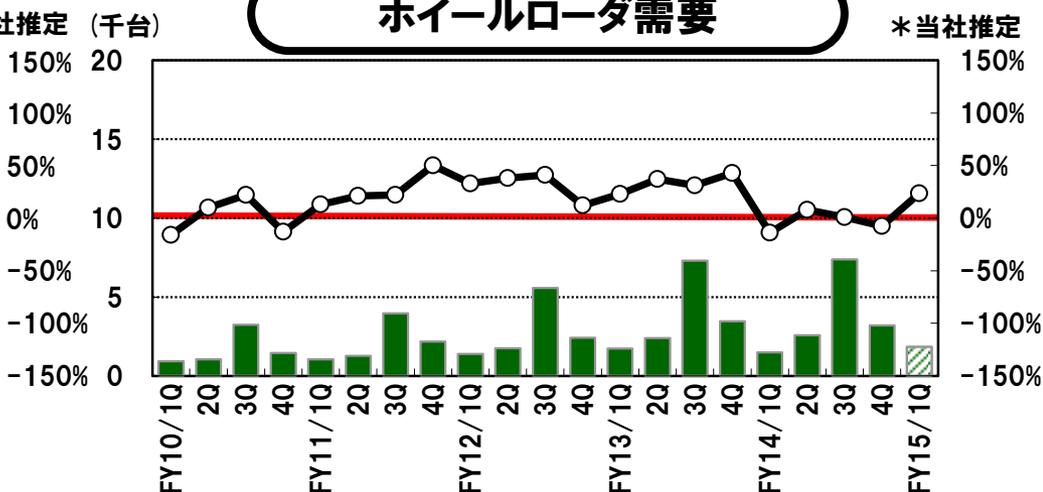
ミニショベル需要



油圧ショベル需要

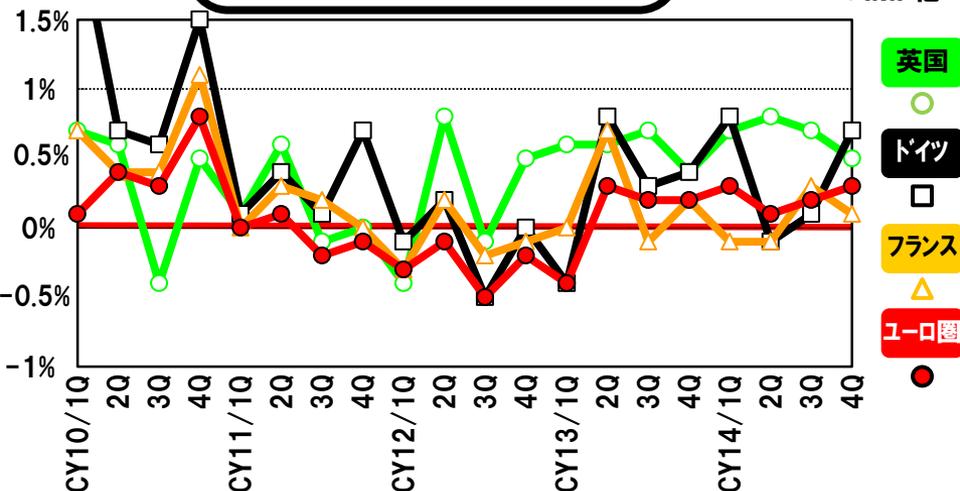


ホイールローダ需要

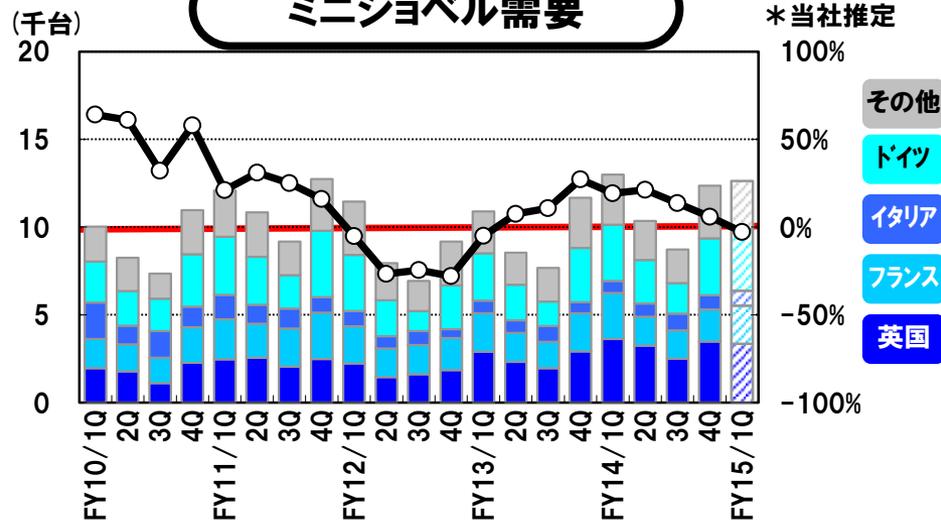


- ◇ 14年度 建機需要は西欧諸国を中心に欧州全体で増加。(油圧対前年15%増)
- ◇ 15年度 建機需要は英国の減少等を受けて全体では微減の見込み。

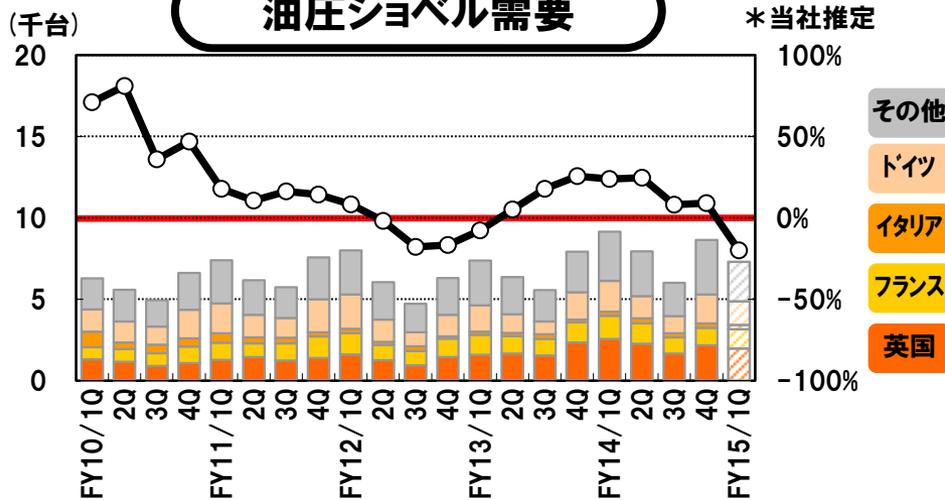
主要国GDP(対前年同期比)



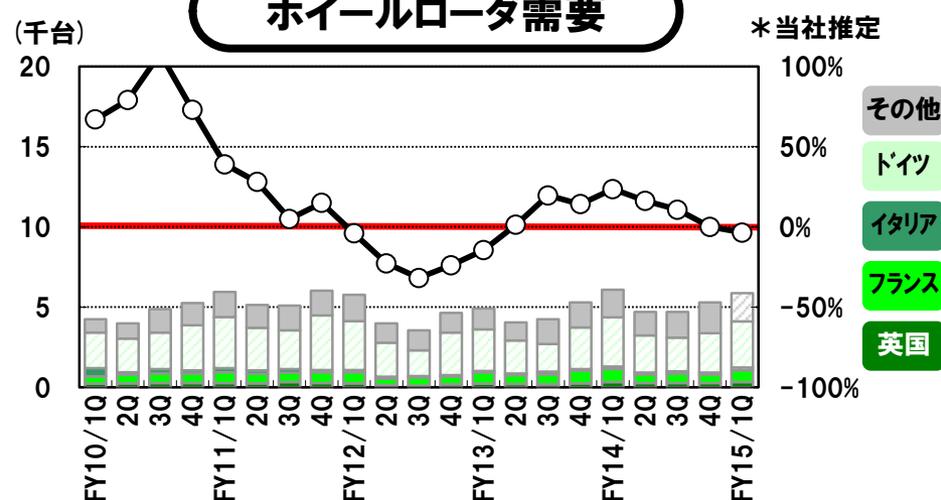
ミニショベル需要



油圧ショベル需要

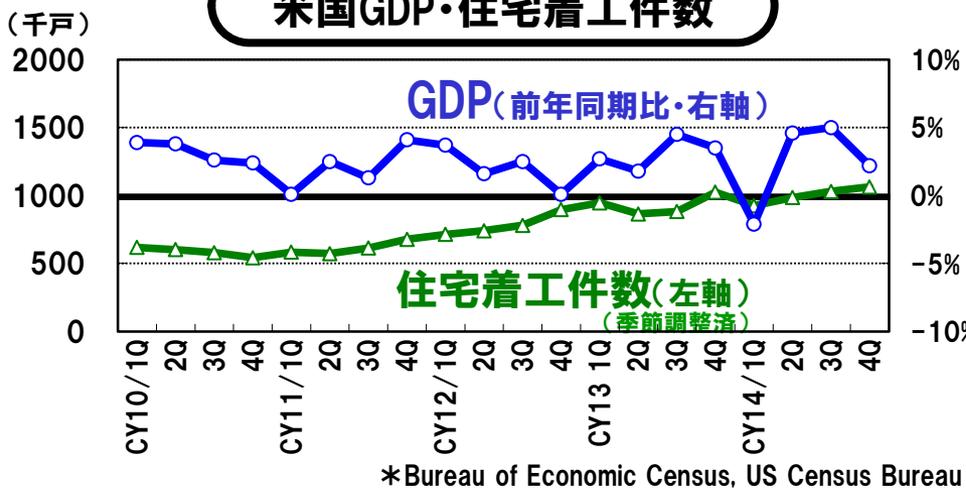


ホイールローダ需要

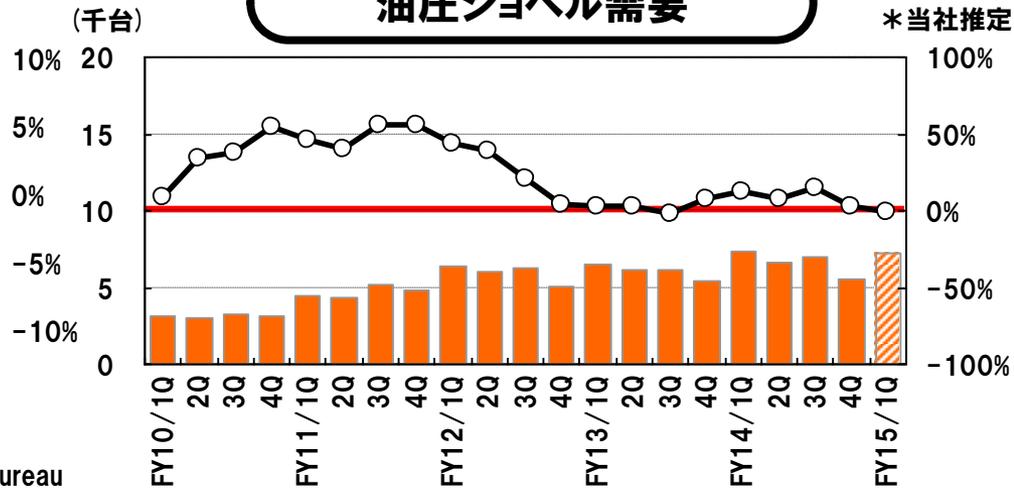


- ◇ 14年度 住宅着工件数・建設投資は堅調に推移。  
油圧・ミニショベル需要は住宅・エネルギー関連を中心に増加(油圧8%増、ミニ15%増)。
- ◇ 15年度 ミニショベル需要は堅調なるも、油圧ショベル需要は横ばいの見込み。

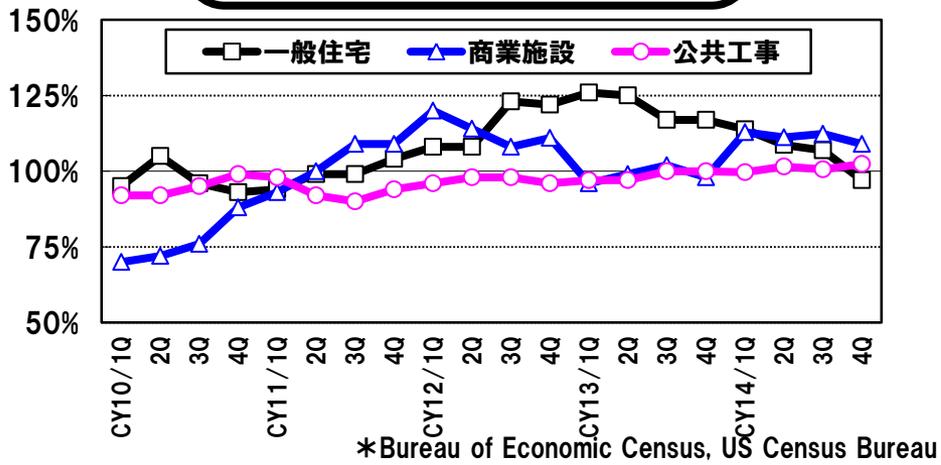
### 米国GDP・住宅着工件数



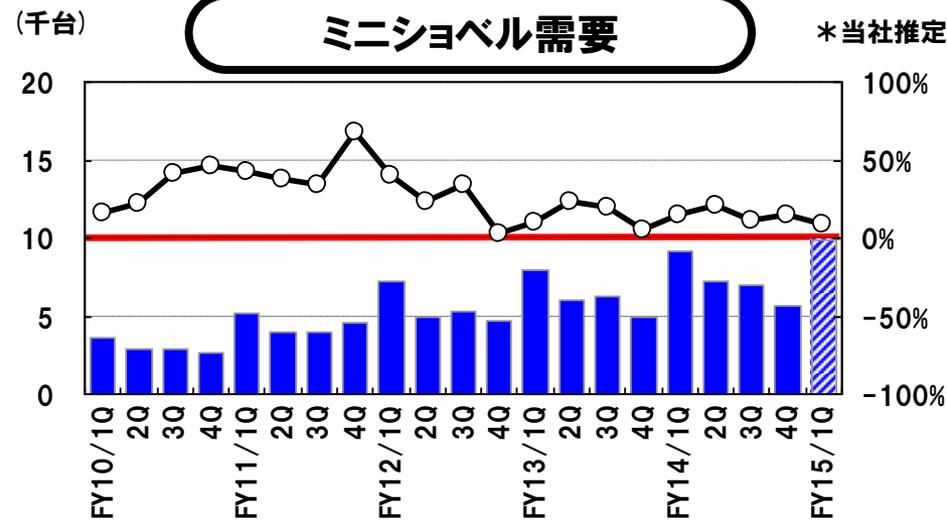
### 油圧ショベル需要



### 米国建設投資(対前年同期比)

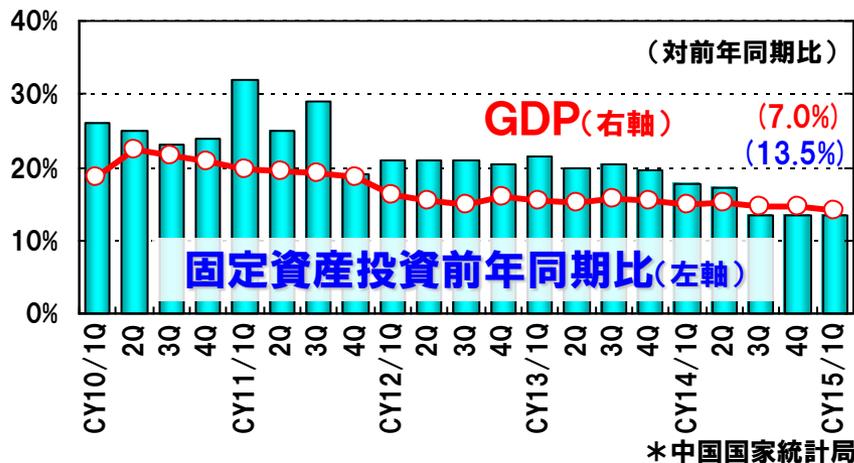


### ミニショベル需要

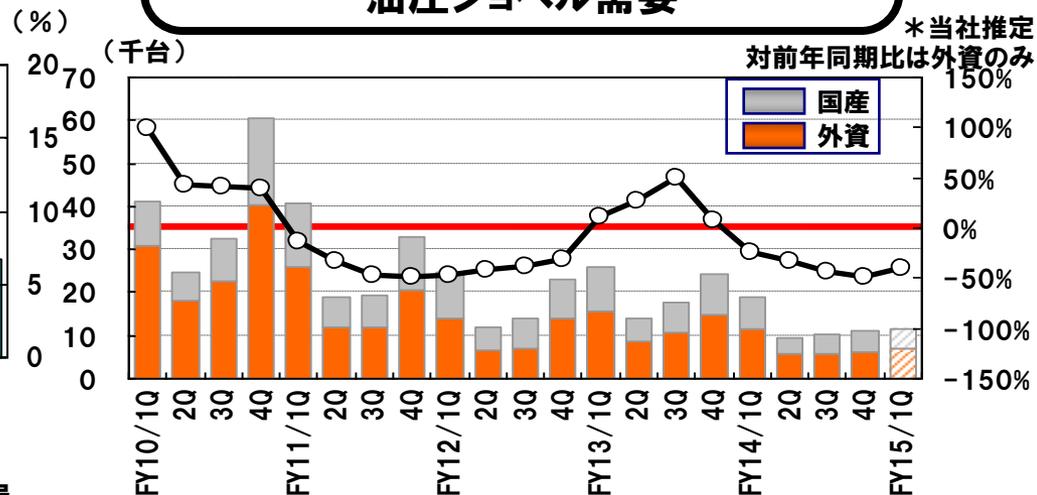


- ◇ 14年度は不動産市況の冷え込み、石炭・鉄鋼の在庫調整が続き、建機需要は大幅に減少。
- ◇ 15年度は更なる需要減の見込み。

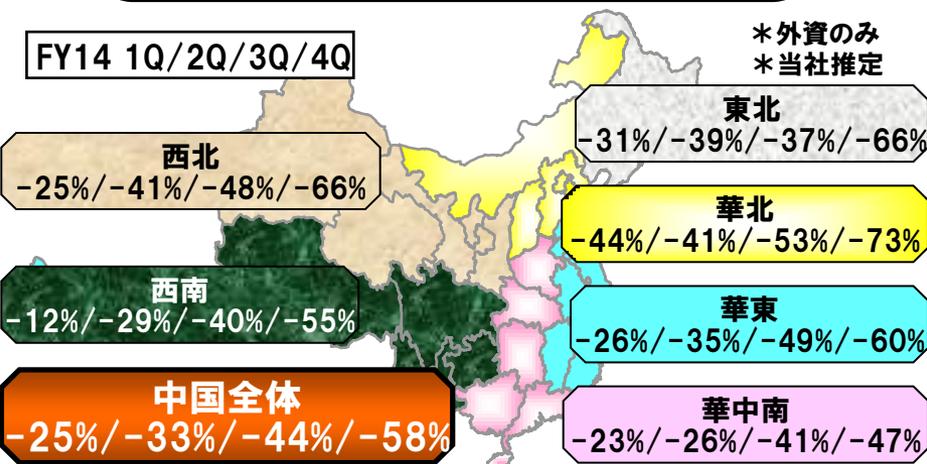
## GDP・固定資産投資



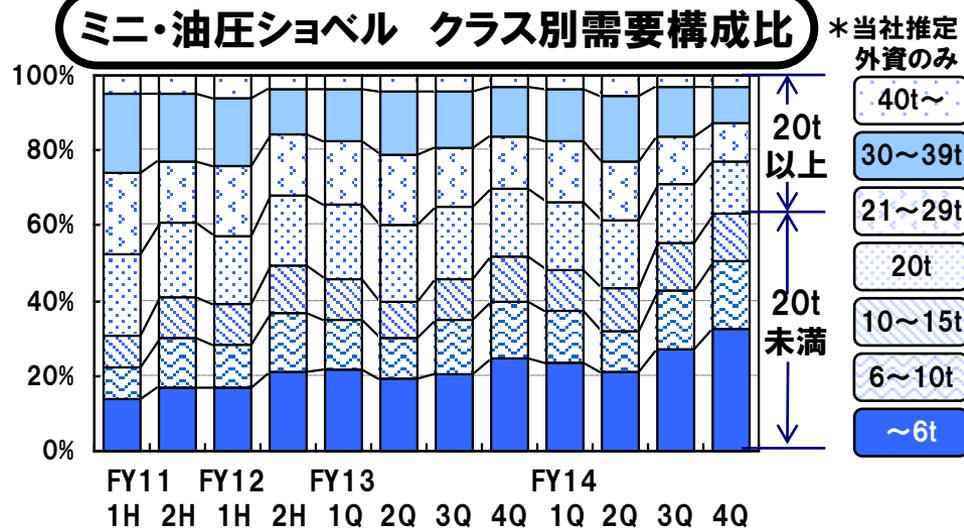
## 油圧ショベル需要

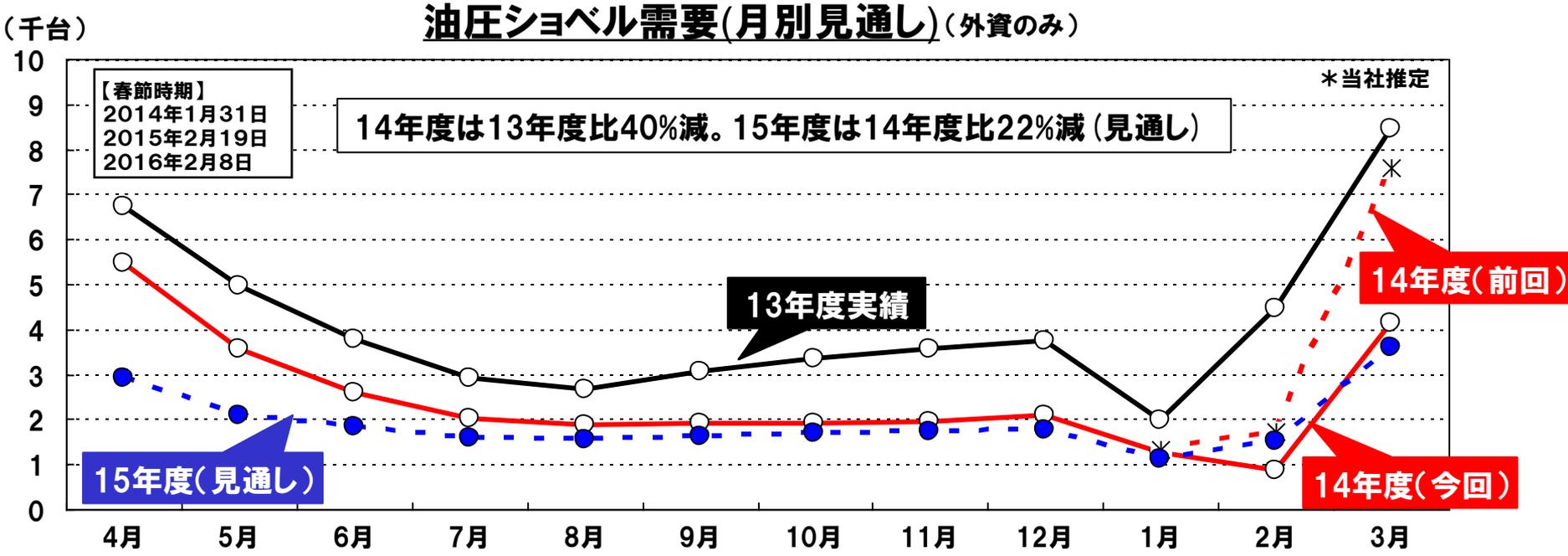
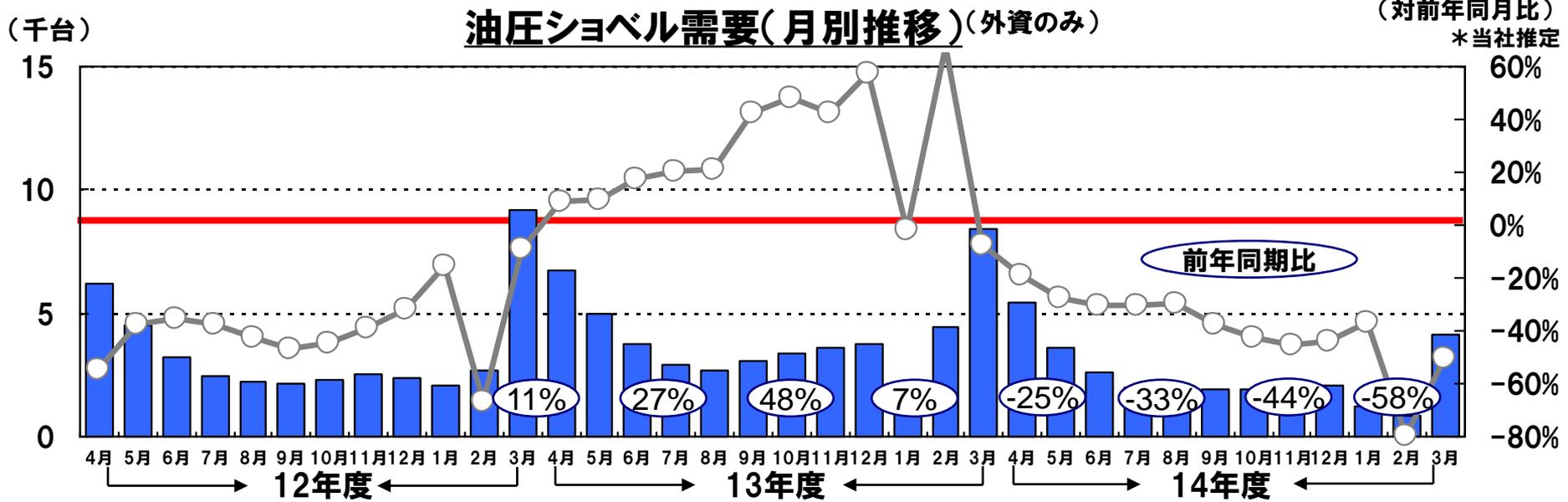


## 地域別油圧ショベル四半期別前年比



## ミニ・油圧ショベル クラス別需要構成比





## 中国での「部品センター」機能を日立物流中国に集約

建設機械および鉱山の保守部品の供給体制を再構築するため、日立建機(上海)有限公司の保守部品の「部品センター」機能を、日立物流(中国)有限公司が新たに開設する「東上海物流センター」に集約し、2015年5月6日より稼働を開始します。

中国での保守部品の物流運營業務を、豊富な経験や管理システムを有する日立物流グループに\*3PL委託し、保守部品の物流効率最適化実現をめざします。

更にこれまで分散していたトレーニングセンターと部品再生工場を同じ敷地内に集約し、プロダクトサポートの総合力強化を図ります。



2015年4月20日 開所式実施

\*3PL: 3rd Party Logisticsの略称。

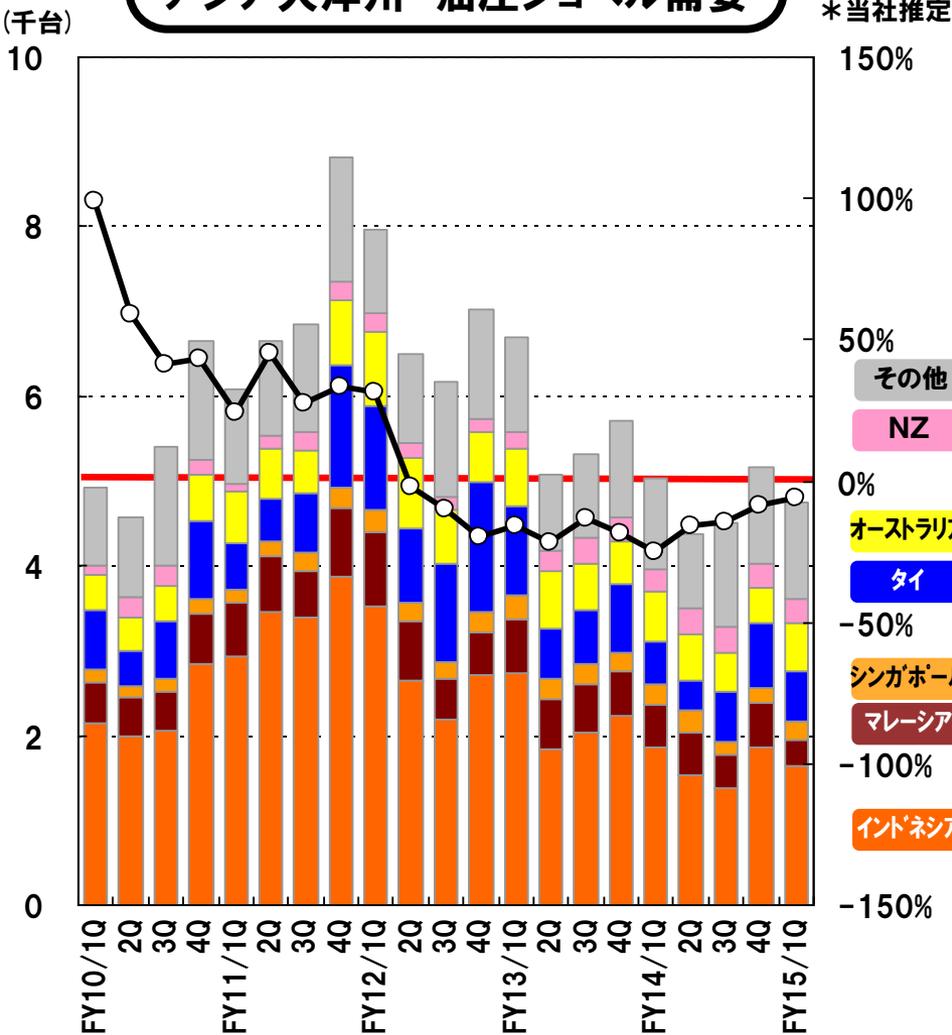
企業の物流全般を第三の企業へ包括的に委任して、実行すること。



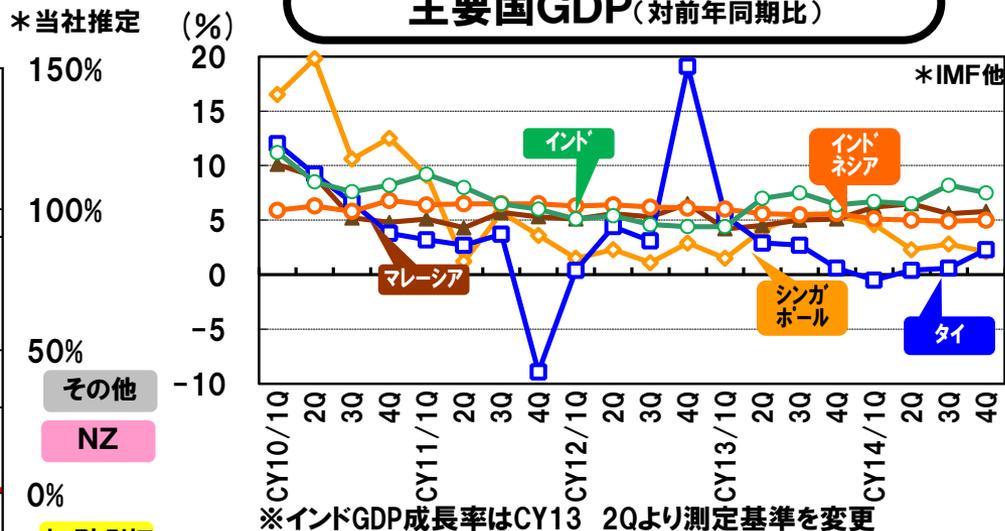
新たに稼働する部品センター

- ◇ 14年度はアジア大洋州の需要はインドネシア・タイ・マレーシアを中心に減少が続き、対前年16%減、インドは回復傾向で対前年1%減。
- ◇ 15年度はアジア大洋州の需要は引き続き軟調、インドは新政権の政策効果により回復の見込み。

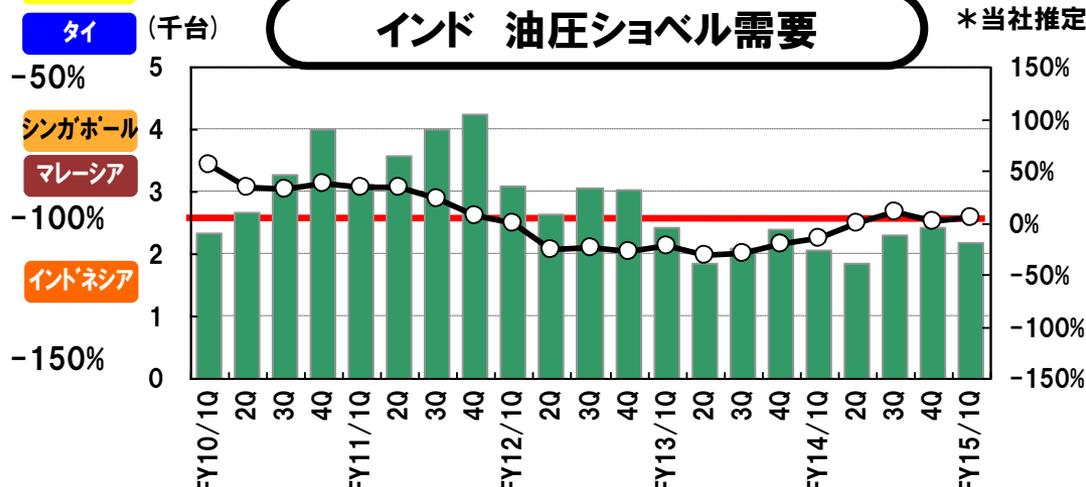
## アジア大洋州 油圧ショベル需要



## 主要国GDP(対前年同期比)



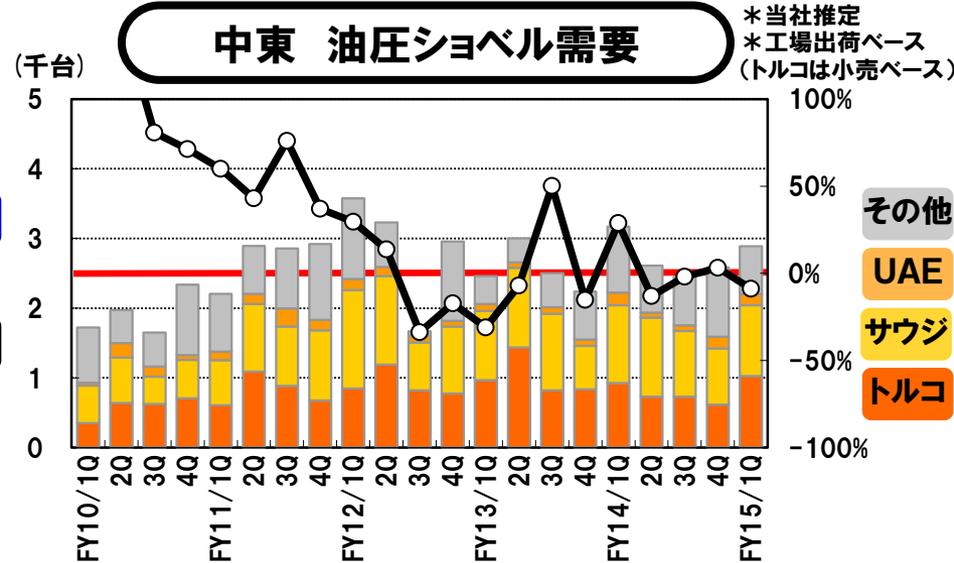
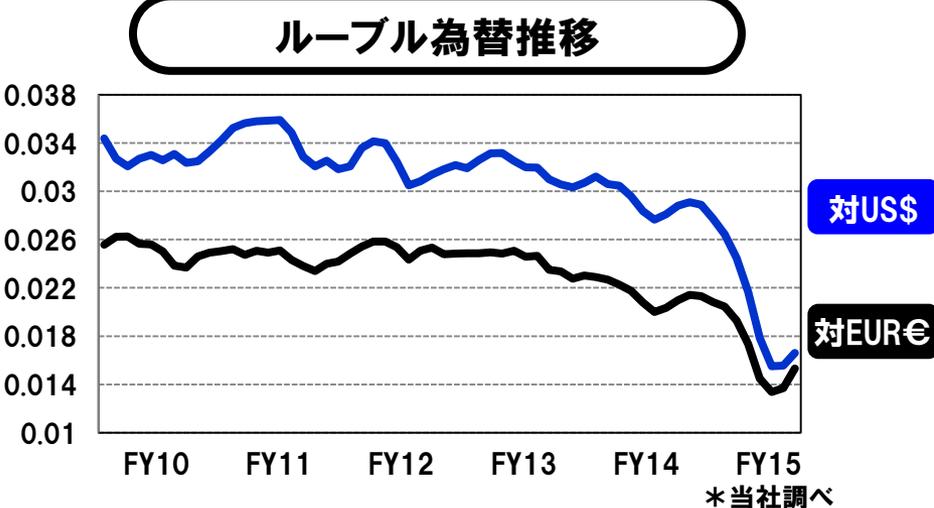
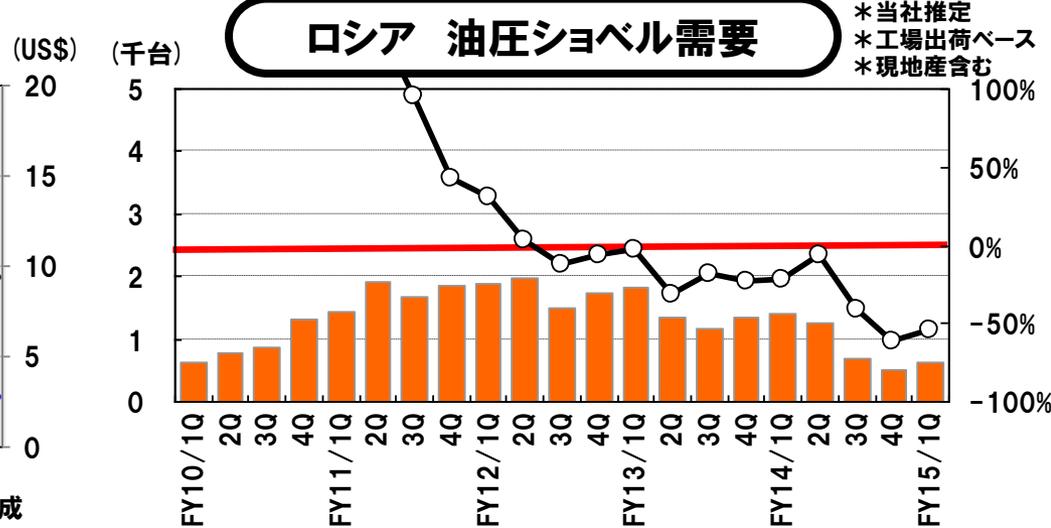
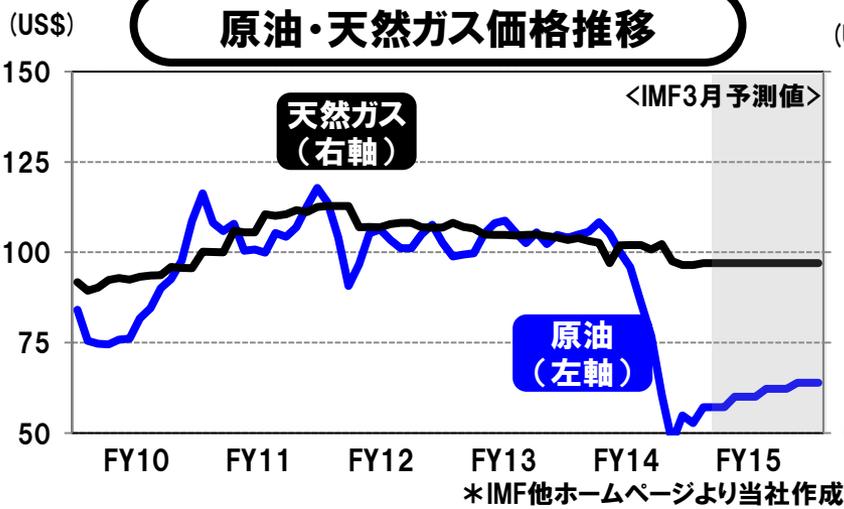
## インド 油圧ショベル需要



インドTHCM社では、輸出用GI機の出荷を開始。  
既に80台が中近東・アフリカ向けに輸出され、  
2015年度においては200台を輸出の見込みです。



**【ロシア】**原油・通貨安により景気悪化とともに需要減(対前年32%減)。15年度も一段と減少の見込み。  
**【中東】**湾岸諸国の道路・港湾等のインフラ関連を中心に油圧ショベル需要は堅調に推移するも15年度は微減の見込み。  
 トルコの14年度油圧ショベル需要は周辺国の影響とリラ安で大幅減、15年度も減少の見込み。  
 (総選挙後の動向注視。)

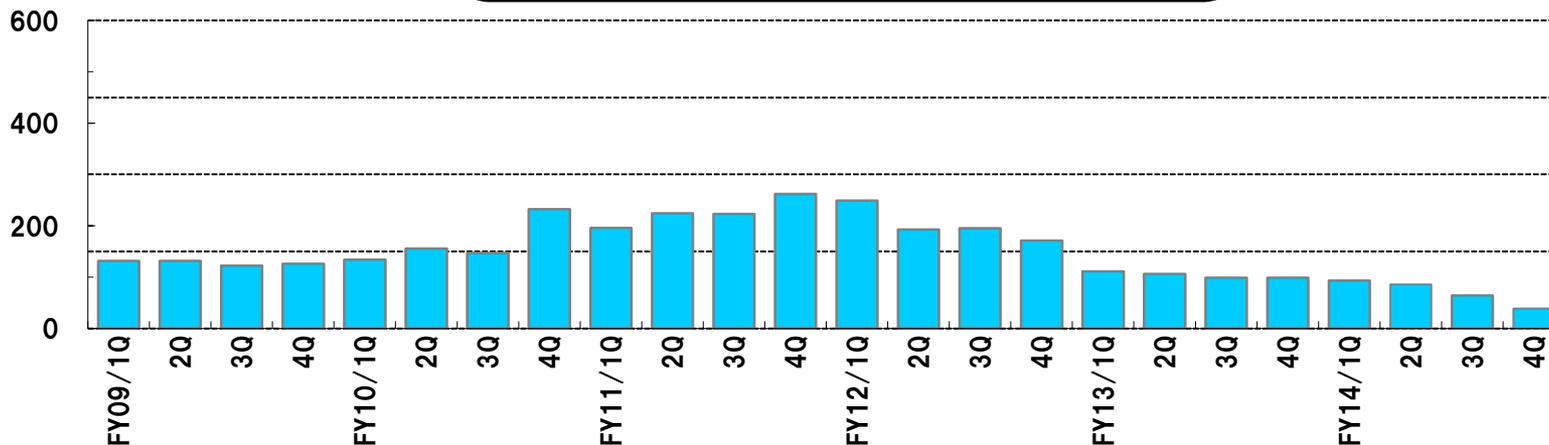


- ◇ 石炭:横ばい 鉄鉱石:依然下落基調
- ◇ 2014年度マイニング機械需要は依然低迷(前年度比約3割減)
- ◇ 2015年度は対前年度比で約1割の減少を見込む

(台)

**超大型ショベル需要 100t (EX1200) 以上**

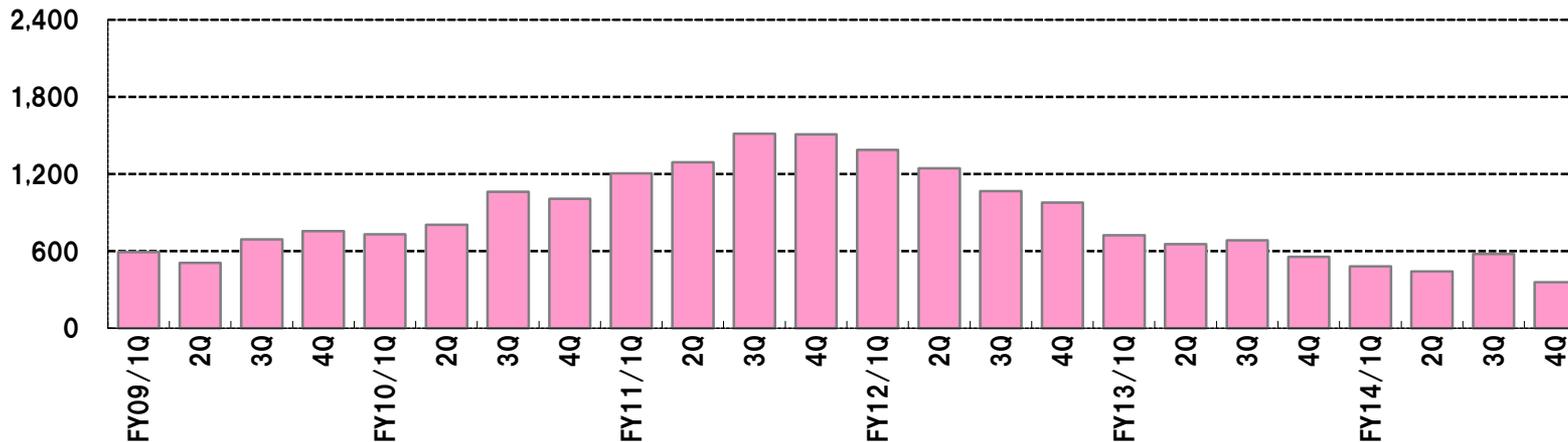
\*当社推定



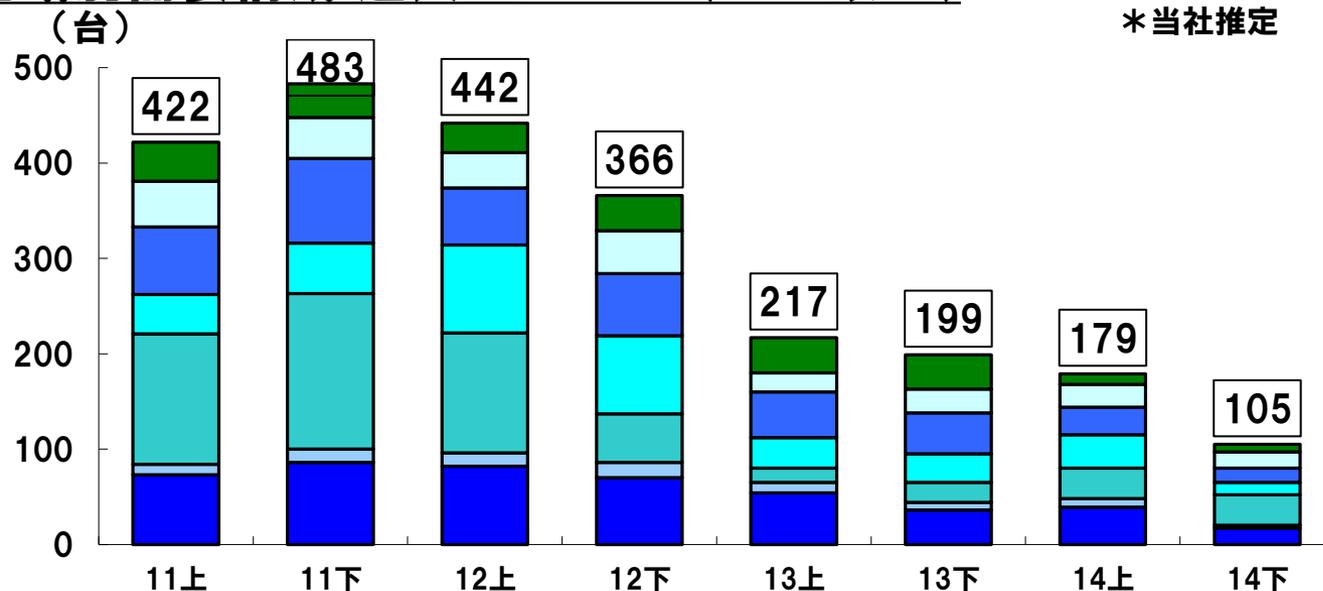
(台)

**トラック需要 55t (EH1100) 以上\***

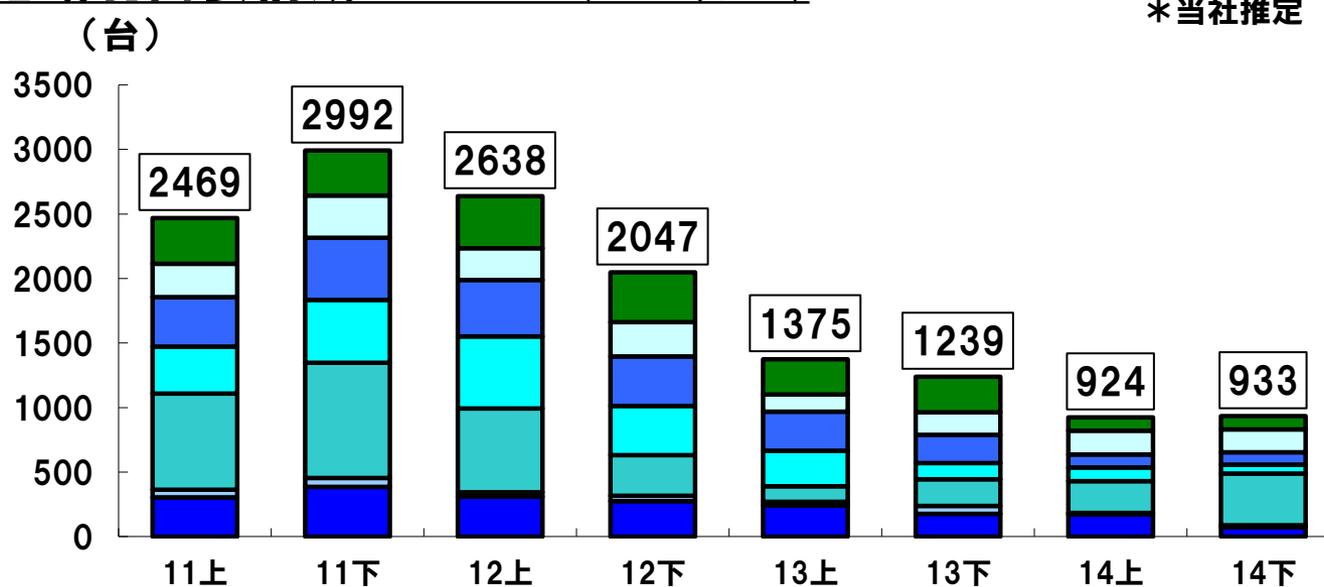
\*トラック需要は積載重量55t以上に変更



## 地域別需要構成 超大型ショベル(100t以上)



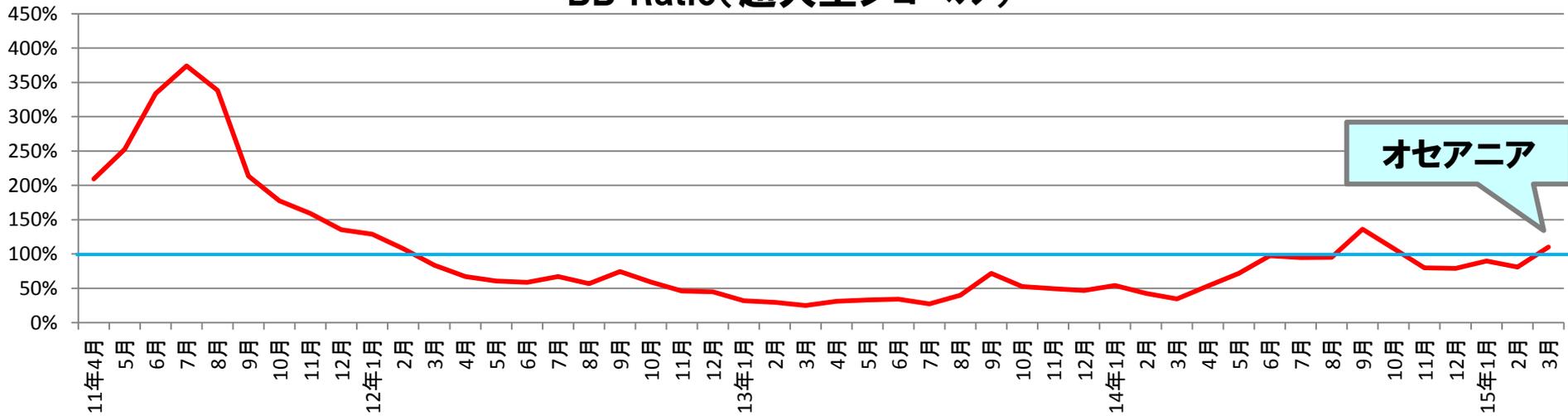
## 地域別需要構成 トラック(55t以上)



Book-to-Bill (BB) Ratio = Booking (受注額) / Billing (出荷額)

## BB Ratio(超大型ショベル)

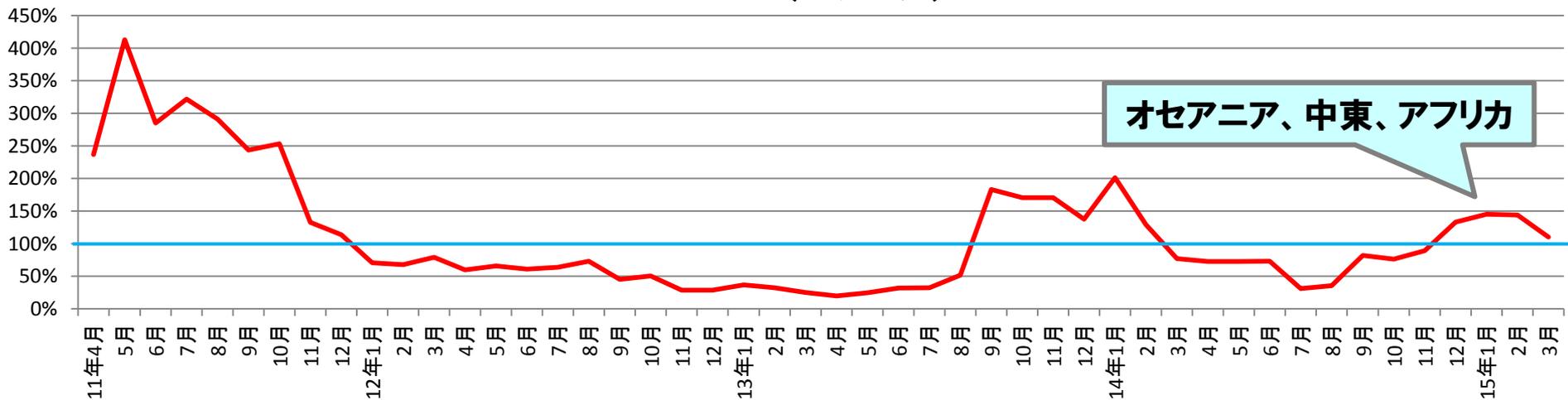
※当社単独、6ヶ月平均



オセアニア

## BB Ratio(トラック)

※当社単独、6ヶ月平均



オセアニア、中東、アフリカ

市場環境は依然厳しい、トラックは入替え需要を取り込みやや改善。

## 2014年度日本機械学会賞（技術）を受賞

最新型AC-3型ダンプトラックに搭載されている「高度車体安定化制御技術」で一般社団法人日本機械学会より「2014年度日本機械学会賞(技術)」を受賞しました。

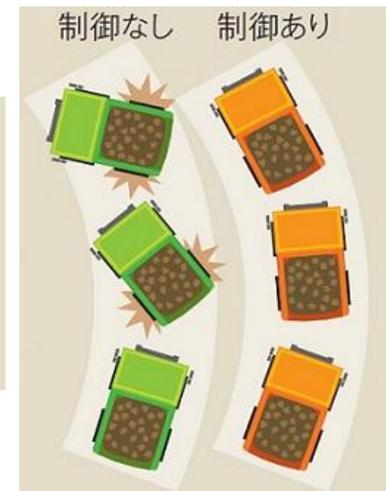
車体のピッチング(揺れ動き)を低減し荷こぼれを防ぐとともに、オペレータの乗り心地を改善する「ピッチング抑制制御」と、走行旋回時の横滑りを防止して、安定感のある旋回走行を実現する「横滑り防止制御」が評価されての受賞となりました。



「高度車体安定化制御技術」搭載  
リジッドダンプトラックEH5000AC-3



ピッチング抑制制御



横滑り防止制御

## 自律運行ダンプトラックのデモンストレーションを実施

2015年3月～4月にオーストラリアの試験場にて大手鉱山会社向けに自律運行 (AHS) ダンプトラックの運行デモンストレーションを実施し、AHSダンプトラックの開発状況とコンセプトをご紹介いたしました。

2017年の導入に向けて、開発を継続して参ります。



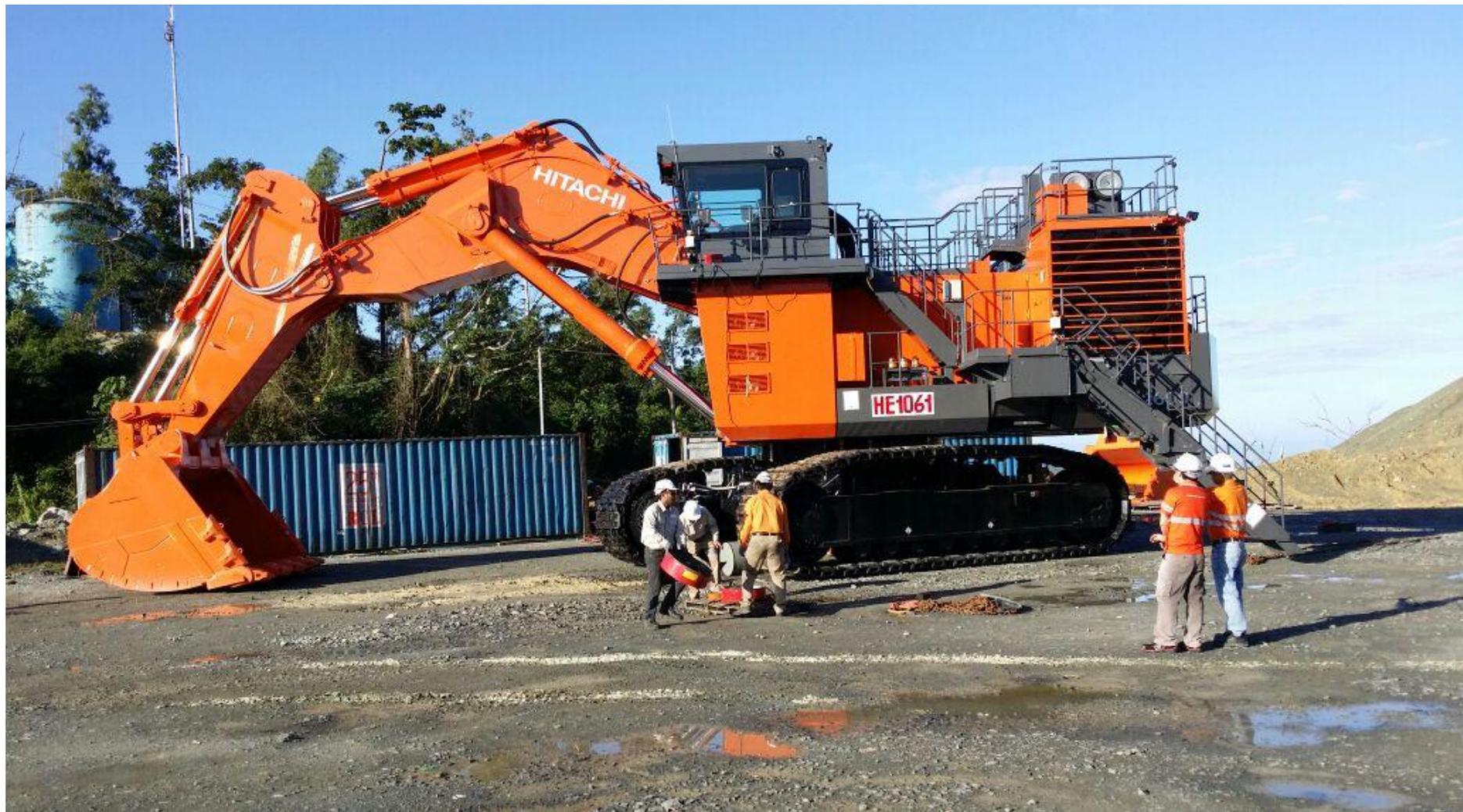
## オーストラリア石炭鉱山向けフリート納入

オーストラリア クイーンズランド州 石炭鉱山向け15年3月に納入

- トラック: EH3500AC-3 x 5台、EH4000AC-3 x 5台
- ショベル: EX3600-6 x 1台、EX5600-6 x 1台



## EX2600-6をフィリピンで初納入



### 【見通しに関する注記事項】

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。

# END

---

## お問い合わせ

 日立建機株式会社

ブランド・コミュニケーション本部 広報戦略室

TEL : 03-3830-8065

FAX : 03-3830-8224

